広報向日市
No.204
昭和54年6月1日
◎発行　向日市役所（京都府向日市寺戸町中野20）
◎編集　広報広聴課　◎電話　075(931)1111

まちのうごき

（5月1日現在）
世帯数　15,042世帯
人口　50,411人
男　25,050人
女　25,361人

（4月中）
生れた人　63人
亡くなった人　17人
転入した人　565人
転出した人　456人

梅雨への備えは万全に

あなたの周りを再点検

浸水やがけ崩れの恐れは？

イヤな梅雨のシーズンがやって来ました。毎日降り続く雨はうっとうしいばかりでなく、時には河川を氾濫させ、私たちの生命や財産をおびやかします。また、交通事故もこの時期に激増します。あなたのご家庭の梅雨への備えは万全でしょうか？。今一度、周りの総点検をしてみてください。

冠水した府道伏見向日線

本市では、ここ数年、これといった雨による被害は出ていません。しかし、いつ襲ってくるかわからないのが集中豪雨です。この災害を未然に防ぐには、日頃からの雨に対する正しい知識と準備が必要です。

いったい何ミリの雨が降ったら危険かということは住んでいる場所の特性で変ってきます。

雨の強さや量を簡単に知るには、雨の音に耳を傾けることです。トタン屋根に当たる雨の音で判断するとよく聞えるといった感じは一時間五～十五ミリ程度、部屋の中のお互いの声が聞きとれないときは、十～二十ミリ。ドシャ降りで下水がたちまちあふれるときは二十～三十ミリと考えたらまず間違いありません。

もし危険な状態に陥ったら、避難する準備が必要です。

山すそやがけの近くに住んでいる人は、とくに雨の降り方を監視することです。雨の降り方が激しく、災害が起きやすい所に住んでいる人は十分な注意が必要です。

あなたの避難場所は

災害が発生し、また発生するおそれがある場合、市民のみなさんの生命を守る場所が避難場所です。

市では、みなさんの近くに、避難場所を設けています。（上図参照・または各戸配布の〝向日市民手帳〟の59ページをご覧ください）ふだんから、避難の方法場所、経路などを家族で確認しておきましょう。

注意＝地震の場合は、建物などのない安全な広場等に避難してください。

防災パトを実施

市では、毎年、梅雨のシーズンを前にして防災パトロールを実施しています。

今年は六月一日に実施して、市内の池や危険と思われる箇所を前もっては握し市民のみなさんの生命と財産を守るため、いざという時に、迅速な行動がとれるよう、万全を期しています。

万が一に備えて これだけは準備を

みなさんも、いざという時あわてないように、非常用品の用意、点検をしておきましょう。

▼停電に備えて、かい中電灯、ローソク、トランジスターラジオなどの用意を

しておきましょう。

▼現金や貯金通帳、印鑑などの貴重品をまとめておきましょう。

▼消毒薬、キズ薬、ガーゼなどの救急薬品やチリ紙も用意しておきましょう。

▼非常用品は、リュックサックに入れるか、風呂敷などにつつんでまとめておきましょう。

▼その他、必要な品物を家族みんなで話し合って点検しておきましょう。

交通事故も激増

視界が狭く、滑りやすい

梅雨のシーズンには、また交通事故も激増します。

ドライバーにとって、雨の日は視界が狭くなるうえに、路面が滑りやすく、車はちょうど氷の上を走っていると考えてもいいほど危険度が高くなります。

ドライバーのみなさんは次のことに注意してください。

◆晴れの日よりもグーンと速度を落とし、車間距離を十分にとりましょう。

◆工事現場の鉄板や路面電車のレールなどは、滑りやすくなるので特に注意しましょう。

◆ワイパーは常に整備しておきましょう。

そのほか、ブレーキの作動は十分か、タイヤの空気圧はちょうどいいかなど、点検整備を怠らないようにしましょう。

◆視界が狭くなるため、道路のデコボコや歩行者の有無について、無意識にも見込み判断しがちですが、〝見込み運転〟は絶対にやめましょう。

◆雨の降りはじめは、歩行者はぬれまいとして先を急ぎます。十分気をつけてください。

◆高速道路では、ラジエーターの水もれはないか、ファンベルトの張りぐあいはいいか、タイヤが摩耗してスリップサインが出ていないかなど、特に注意しましょう。

気象ひとくちメモ

六月は初夏から真夏への移り変りの季節です。

一年中で一番日が長く、日射も強い。五月下旬から六月中旬にかけて、本州各地はつゆに入ります。六月から七月にかけての天気は、梅雨前線の消長に支配されます。

六月の気象災害は梅雨前線の活動にともなう大雨の被害や降ひょうなどがあり、かびが生えやすく、金属がさびやすくなります。

◆梅雨

梅雨前線の北側に入ると冷涼な天候となり、時にはひどく冷えこみます。南側ではむし暑くなります。南から湿った暖かい空気が勢いよく流れこむと、前線が活発になって、豪雨が降りやすくなり、梅雨末期には毎年大雨による被害がでています。

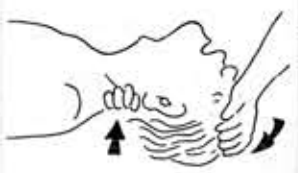
◆雨量と水害

雨量が一時間に十ミリとは、一時間に降った雨が一センチの深さにたまったことを示します。十ミリの雨は一平方メートルの面積で十リットルの量になります。

どのぐらいの雨が降ると災害が起きるかは土地によってちがいます。自分の住んでいる所がどんな所か日頃からよく知っておきましょう。

降雨量―私にも測れます

覚えよう 人工呼吸法


①

①気道確保

口、鼻から始まり肺までの通路を「気道」といい呼吸を停止した人に対しては、まず気道を開通させることが最も大切な救急処置となります。

手順は、一方の手を患者の下にあてがい、上に押し上げるようにし、もう一方の手は額にあて頭部を最大限後方に傾け、下あごを前方に引き出して大きくあける。

乳幼児の場合は、首がしなやかなので、力まかせに引くと、かえって気道をつまらせます。むしろ両手を使い下あごを前方に押し出すようにしてください。

②

②鼻をふさぐ

鼻から空気のもれるのを防ぐため、片手で鼻をつまむか、はおを鼻のアナに押しつける。

③

③息を吹きこむ

深く息を吸ってから、口を大きく開けて患者の口の周りにかぶせ、患者の胸が軽くふくらむまで息を吹きこむ。成人には強く、小児には静かに、幼児には肺の破裂を避けるため、プッと軽く吹くだけにしてください。

なお、小児・幼児の場合は、顔が小さいので、口と鼻の両方から吹きこんでもかまいません。

④

④口を離し呼気をさせる

口を離すと、患者は自然に吹きこまれた息をはきだします。患者の胸が下がっていくのがわかり人工呼吸が効果的に行われていることが確認できます。

呼気が終わったら、また吹きこみますが、最初の三～五回は早く強く反復し、以後は五秒に一回の割合（一分間に約十二回）で吹きこみます。

小児、幼児の場合は三秒に一回ぐらいの速さで軽く肺をふくらませるとよいでしょう。

市内の避難場所一覧表

施設名	所在地	施設名	所在地
物集女公民館	物集女町中条26	第3向陽小学校	森本町下森本30
寺戸公民館	寺戸町初田18	第4向陽小学校	寺戸町三ノ坪70
駅前集会所	寺戸町蔵ノ町22	第5向陽小学校	上植野町五ノ坪1
森本事務所	森本町下森本23	乙訓中学校	鶏冠井町堀畑24
鶏冠井事務所	鶏冠井町御歴敷26	第4乙訓中学校	物集女町吉田1
上植野事務所	上植野町西小路16	向陽高校	上植野町西大田
向日事務所	向日町南山25	西山学園	寺戸町西野辺25
西向日事務所	上植野町野上山1	向日町競輪場	寺戸町西ノ段5
向日台集会所	向日町北山74	大牧公園	寺戸町大牧1―194
向陽小学校	向日町南山3	西向日公園	上植野町南開
第2向陽小学校	物集女町南条70	老人福祉センター	上植野町南開66―1